

令和元年度 第3回深谷市まちづくり評価委員会 会議録
(B班グループ評価1回目)

1 実施日時

令和2年1月30日(木) 13時00分~16時00分

2 場所

本庁舎3階 大会議室

3 出席者

委員4人 神山委員長 細井委員 大澤宏貴委員 大澤充委員
総務防災課2人 吉岡次長 根岸主任
自治振興課2人 吉場次長 橋本課長補佐
学校教育課2人 関根課長 山本課長補佐
警防課2人 江原次長 蕪塚係長
企画課(事務局)4人 荻野次長、倉林課長補佐、中島係長、深町主査

4 会議内容

(1) あいさつ

(2) 自己紹介

(3) 対象主要プロジェクトの確認

- ・今回取り上げる主要プロジェクトは、「主要プロジェクト4 暮らし安心ふかやプロジェクト」であることと、担当課及び取組内容を確認。

(4) グループ評価

①主要プロジェクトの現状把握及び課題抽出

- ・主要プロジェクトの実施計画シート等の資料から、委員と主要プロジェクト担当課職員の意見交換により、この主要プロジェクトの現状把握及び課題の洗い出しを行った。

【第1回グループ評価においてまちづくり評価委員会から出た課題意識】

従来、行政ができないことを発信することは、行政も市民も抵抗感を持ってきた。しかし、ニーズの多様化が進む今日の防犯・防災においては、行政に市民が頼るだけでなく、自助、共助の必要性は明白である。

そのような中、行政のできないことや、市民の担うべきことを、明確に発信する時期に来ていると言えるのではないだろうか。

また、防犯・防災体制の強化を図る上では、既存のアプローチ先のみならず、幅広い担い手との協働により推進する必要があると考える。

③第2回グループ評価に向けた検討テーマ

第1回で出た課題意識から、次回までに次のテーマについて、それぞれ考えをまとめてくることとした。

●職員側

次の3点について検討する。また、次回のグループ評価までに、事務局の企画課を中心として4課が集まる機会を設けること。特に③については意見の一本化を図ること。

①本プロジェクトのテーマである防犯・防災について、市民と協働できることはどのようなことか。

②災害に対する備えとして、災害発生初期には、市民にどのような備えを求めたいか。

③防犯・防災について、市民に担ってほしいことは何か。

●委員側

職員側で出された③について、各自の考えを用意する。